

氏名	江良 裕子	部署	口腔保健科学専攻	職名	准教授
研究分野	歯科理工学、口腔保健学				
学位	博士（歯学）				
学歴	1992年北海道立衛生学院 歯科衛生学科、2008年放送大学教養学部 生活と福祉専攻 2020年北海道大学大学院歯学研究院 口腔健康科学分野・講座 生体材料工学教室（博士課程）				
経歴	1992年～2004年 歯科診療所勤務 歯科衛生士、2004年～2006年 居宅介護支援事業所勤務 ケアマネージャー 2006年～2018年 北海道歯科衛生士専門学校勤務 教務主任 2018年 埼玉県立大学保健医療福祉学部 助教、2025年 埼玉県立大学保健医療福祉学部 准教授				
所属学会（役職）	歯科衛生教育学会、歯科衛生学会、歯科理工学会、SPU学会（事務局会計）、北海道歯学会 代用臓器・再生医学研究会、日本管楽芸術学会				

【2025年度実績】

1. 研究業績							
(1) 著作(著書及びその他の著作物)							
	著作の名称	単・共	ISBN	発行所、全ページ数		著者、編者名	発行等年月
1	該当なし						
(2) 論文							
	論文の名称	単・共	査読	IF対象誌	雑誌名、巻(号)、開始-終了ページ	著者、編者名	発表等年月
1	Mechanism of storage of interhalogen compounds on single- and double-layered graphene nanoflakes: a density functional theory study	共著	あり	○	Japanese Journal of Applied Physics, Volume 64, Number 5, 057006	Shigeaki Abe, Sirus Safaee, Alireza Valanezhad, <u>Yuko Era</u> , Ko Nakanishi, Koichi Nakamura, Mariko Nakamura, Ikuya Watanabe and Hiroto Tachikawa	2025.5
(3) 学会発表							
	学会発表の演題	単・共	学会名、開催都市		発表者(発表者は○印)		発表等年月
1	A novel sol-gel transition hydrogel-carbon nanotubes composite controlled by infrared irradiation	共同	日本歯科理工学会、名古屋市		Safaee Sirus, Ge Teng, Yin Qi, <u>Era Yuko</u> Valanezhad Alireza, ○Abe Shigeaki, Murata Hiroshi, Watanabe Ikuya		2025.4
(4) その他							
	名称	単・共	発表場所等		発表者(発表者は○印)		発表等年月
1	該当なし						
2. 競争的資金等の研究							
	競争的資金等の名称	研究名			研究代表者・研究分担者の別	研究期間	
1	文部科学省・日本学術振興会科学研究費補助金(基盤研究C)	赤外光により窩洞への流動性と形状維持能を制御する骨補填材/ハイドロゲルの創製			研究分担者	2024.4～2027.3	
2	文部科学省・日本学術振興会科学研究費補助金(基盤研究C)	多孔質シリカを用いた殺菌剤を徐放可能な新規な歯科修復材料の創製			研究分担者	2025.4～2026.3	
3. 教育業績							
(1) 講義							
	講義の名称	科目責任者	コマ数	概要(教育内容・方法等において工夫した点)			
1	該当なし						

(2) 演習				
	演習の名称	科目責任者	コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）
1	矯正歯科学		15	学内担当として、非常勤講師の講義や試験の準備、支援を行った。
2	歯科材料学		15	学内担当として、授業の準備やサポートを行い、授業がスムーズに進むよう努めた。
(3) 実習				
	実習の名称	科目責任者	学外実習：期間 学内実習：コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）
1	ヒューマンケア体験実習		2025.9.19～9.26	多職種連携の導入として、初めて対面した学生同士が活発に意見交換できるようサポートを行った。
2	チーム歯科医療学Ⅰ	○	25	歯科臨床の場で求められる基本的な歯科診療の補助の知識、技術、態度を身につけられるよう、講義・実習を行った。
3	チーム歯科医療学Ⅱ	○	24	臨床実習が始まる前の実践的な実習のため、学生達に根拠を考慮してもらうよう工夫した。いつでも学習できるよう、動画教材を作成し活用した。
4	チーム歯科医療学Ⅲ	○	33	3年前期までに修得した専門領域の知識、技術、態度を臨地臨床実習の場で活かせるよう、実習オリエンテーション、カンファレンス、インシデントの対応を行った。上級生から直接学ぶ機会を提供するため、4年生と3年生による合同実習を実施し、学習効果の向上に寄与した。
5	チーム歯科医療学Ⅳ	○	26	3年次までに修得した専門領域の知識、技術、態度を臨地臨床実習の場で活かせるよう、実習オリエンテーション、カンファレンス、インシデントの対応を行った。
6	臨地・臨床実習Ⅰ		2025.10～2026.3	特別養護老人ホーム、医学部附属病院、総合病院、歯科大学病院における歯科衛生士の役割と業務について理解し、歯科衛生士としての実践力を学ぶことができるよう支援した。 個別面談や日常的な声かけを通じて学生の心理的負担の軽減を図るなど、メンタルサポートにも取り組んだ。
7	臨地・臨床実習Ⅱ		2025.4～2025.7	様々な地域歯科医療現場（リハビリテーションセンター、口腔保健センター等）における歯科衛生士の役割と業務について理解し、歯科衛生士としての実践力を学ぶことができるよう支援した。 個別面談や日常的な声かけを通じて学生の心理的負担の軽減を図るなど、メンタルサポートにも取り組んだ。
8	臨地・臨床実習Ⅲ		2025.4～2025.7	地域歯科診療所における歯科衛生士の役割と業務について理解し、歯科衛生士としての実践力を学ぶことができるよう支援した。 個別面談や日常的な声かけを通じて学生の心理的負担の軽減を図るなど、メンタルサポートにも取り組んだ。
(4) 論文指導				
	対象	期間	主指導・副指導の別及び指導人数	
1	卒業論文	2025.1～2026.1	主指導 2名	副指導 名
(5) その他				
	名称	期間	概要（教育内容・方法等において工夫した点）	
1	口腔保健科学専攻 第4学年担任	2025.4～2026.3	新年度ガイダンス、個人面談（前期1回、後期1回）の他、学生の希望に応じて面談等を行い支援した。学生が主体的に行動できるよう配慮した。	
2	学生アドバイザー	2025.4～2026.3	アドバイザーグループ全学年を対象としてアドバイザーミーティングを実施した。初対面でも質問しやすいような雰囲気作りを工夫し、ミーティング後もコミュニケーションが取れるよう工夫した。	

4. 社会貢献活動				
(1) 講演会、研修会、公開講座等の講師				
	講演会、研修会、公開講座等の名称	主催	講演、研修、公開講座等のテーマ	開催年月
1	リアル体験教室	埼玉県県民生活部青少年課	歯と口の健康を守る歯科衛生士になりたい	2025.7
2	清透祭での公開講座	口腔保健科学専攻	お口からはじめよう！健康づくり講座	2025.10
3	埼玉未来大学	公益財団法人いきいき埼玉	オーラルフレイル防止の秘訣	2025.12
(2) 国、自治体、学術団体等における委員等				
	国、自治体、学術団体等の名称	委員等の名称	任期	
1	埼玉県立大学保健医療福祉科学学会	会計委員	2025.4～2027.3	
(3) ジャーナリズムでの発言				
	メディア等の名称	内容	年月	
1	該当なし			
(4) その他				
	項目	相手方等	内容	期間
1	該当なし			
5. 学内運営				
	項目	内容		期間
1	全学的委員会及びセンター業務等	入試実施部会		2025.4～2027.3
2	学科等における委員会等	有害物質等管理者		2025.4～2026.3
3	大学広報活動	高校訪問への参加（3校）		2025.5～2025.6
4	大学広報活動	高校生を対象とした大学見学の対応（7回）		2025.5～2025.12
5	大学広報活動	高校の先生方を対象とした大学説明会		2025.6
6	大学広報活動	オープンキャンパス 口腔保健科学専攻 企画運営（3回）		2025.6～2025.8
6. 受賞（研究、教育、社会貢献活動に関するもの）				
	受賞名	主催	受賞年月	
1	該当なし			
7. 特許の取得				
	特許名	特許番号	登録年月	
1	該当なし			
8. 特記事項				
1	該当なし			